

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

学校現場における業務改善加速事業

事業の経過・背景・課題

- 「学校における働き方改革に係る緊急提言」では、校長及び教育委員会は学校において「勤務時間」を意識した働き方を進めることとされているが、各校に導入されている校務支援システム「クラリネット」の現契約機能では教職員の勤務状況について対応できない。
- 教職員の長時間勤務の実態の改善に向け、学校の管理職及び教職員が勤務時間についての意識をもって勤務できるよう、「見える化」を図る必要がある。

取組内容

交付実績額： 204 千円

- ・「クラリネット」の勤怠管理機能を現状のシステムに導入し、毎日の出退勤時刻を記録することで、管理職及び本人が勤務時間を正確に把握
- ・休暇届、出張届など諸届の提出もシステム上での処理によってペーパーレス化することで、出勤簿管理の合理化・簡易化



事業の成果・今後の展望等

- 学校管理職や教育委員会において、すべての教職員の出退勤時間を把握し、学校ごと、職ごと、個人ごと等の情報を抽出、分析できるようにすることで、学校状況の把握や健康管理、業務改善の効果検証等に活用できた。
- 教職員の勤務時間を正確に記録することで、勤務時間の推移等を「見える化」し、勤務時間に関する意識改革が図れた結果、早期退勤をする傾向が高まった。
- クラリネットはまだ開発に改善の余地があるため、学校現場の意見を集約していき、さらに使いやすいシステムに改善していく必要がある。
- 学校日誌や行事予定機能を加えていくことで、職員伝達メモが作成できれば、さらなる業務の合理化・スピード化が図れる。
- 今後は、同時に導入した他の自治体とも連携して、アプリの機能強化に取り組むなど、教職員が余裕をもって児童生徒と向き合う時間を創出し、よりよい教育環境の整備を図る。